

# ひよつとこ 短編

エンジン

つい最近起こったばかりの話よ。

今月の初め、近所の公園で町内会お祭りがあったの。

昔は小学校の友達何人かを連れてはしゃぎ回ったりしたけど、もう大学生だし、別に行こうとは思わなかったわ。でも、レポートを書いている最中に、太鼓の音や「何とか音頭」の曲が聞こえてきて、なんだかカキ氷が食べたくなっちゃって。100円片手に、覗いてみることにしたの。

公園は人でいっぱい。いつもやってるお祭りなのにね。

で、かき氷の屋台にいったんだけど、行列ができていたの。その日は特に暑かったからねえ。

私、並ぶのって嫌いだから、諦めたのよ。それで、他に冷たい食べ物ないかなと思って、歩きながら屋台を見てたら・・・。

お面屋さんがあったの。重ねた物干しみたいな台に、色んなお面が飾られていたわ。

でも私、そこで変だと思ったのよ。このお祭り、毎年大体の出し物が決まっててね。金魚すくいにスーパーボールすくい、それにさっきのカキ氷に、たこせんべい、それに加えて後一つ、氷で冷やした缶ジュースやチョコバナナが売られてることもあるんだけど、このお祭りでお面の屋台が出てるのは初めてみたわ。子供の頃から知ってるけど、今までなかった。

だから、ちょっと興味を惹かれて、立ち止まっちゃったの。買うつもりなんてないのに。

そのお面屋さんなんだけど、売り物は別に変じゃなかった。どこにでもある、プラスチックでできたお面。おかめとか、後ひょっともね。

そう、ひょっこ、台の後ろに座っていた店の人が、ひょっこのお面をつけてたのよ。それもプラスチックの安物じゃなくて、木を彫って作ったやつ。

それを被ってて、こっちを見てくるのよ。目を逸らしたり、場所を移動したりしても、こっちをじっと見てる。お面越しでも視線って不気味だわ。

なんか気持ちが悪くなっちゃって、もう冷たいものなんかどうでもよくなったわ。

公園から出る時、もう一度そのお面屋さんの方を見たの。もしまだこっちを見てたら、誰かに  
告げ口してやろうと思って。

でもね、変なのよ。お面さんがなくなってるの。見間違いじゃないわ、どこにあったかちゃ  
んと覚えてたし、辺りを見回したりもしたよ。でも、ないのよ。本当に、消えちゃったみたい  
に。

・・・その次の日からよ、付き纏われるようになったのは。

誰にとって？ ひょっとこよ、お面屋の木彫りひょっとこ。あの顔に法被姿だから、どこにいて  
もすぐ分かるわ。

最初は昼休憩中に通りを歩いてた時よ。なんか見られてる感じがして振り返ったら、いたの。

電柱の陰から、こっちをじーっと見てるんだもん。情けない声出して飛び上がった。目を凝らしてもまだいるし、どうしよう、通報しようかしらって、内心ビビリながら数分そいつと睨めっこしてたんだけど、その内に気づいたのよ。

どうもそいつ、私以外には見えないみたいなの。その時もちらほらと人がいたんだけど、あんなに派手なひよっところには目もくれず、身構えて電柱を睨んでる私の方を見て首を傾げたりするのよ。

ちょっとムカツときたけど、それで分かったのね。私、オカルトとか怪談とか好きだから、ピンときたわ。

それから、そいつは私の背後に現れるようになったのよ。急に視線が背中に当たるから、出た時はすぐに分かるけど、どうもそいつは私のことをじっと見るだけで、何かする気配はなかったからほっといたのよ。

たまーにポリバケツの中から顔を覗かせてたりしてるのを見ちゃって、思わず一人で吹き出しちゃったこともあったし。

名前でもつけてやろうかな、なんて考えてたついで一週間前よ。

講義が早めに終わって家に帰ったら、家の前に消防車。家の窓を見ると、煙がモウモウ！ 顔が真っ青になったわ。

ひょっとしたら・・・と思って周りを見たら、いたわ、電柱の陰に！

あいつ、私をしばらくじっと見てたけど、急に「アバヨッ」って感じで手を振って、走って逃げやがったのよ！待ちやがれ！ って追いかけたかったんだけど、ヒールだったから無理だったわ、ちえっ。

・・・火事の方は結局、台所周りからの失火によるボヤってことになったんだけど、その時は家に誰もいなかったのよ？明らかにおかしいとは思うけど、じゃあどうなんだって言われるとねえ。

でも、この話、どう思う？



ひょっとこって火の神様の使いらしいけど、あの火事と関係があるのかしら？ ひょっとこが家に火をつけたの？

それとも、これから火事が起きるってことを報せようとしてくれてたのかしら。

できれば、二番目の方がいいかなあ。ひょっとこに恨まれる筋合いなんてないもの。

まあ、いずれにせよ、それ以来ひょっとこは見なくなったわ。

え？ また見たらどうするかって？

うーん、どうしよう。お酒でも出せば喜ぶのかな？

(完)